

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 3 月 4 日 (2021.3.4)

【公開番号】特開 2019-69018 (P2019-69018A)

【公開日】令和 1 年 5 月 9 日 (2019.5.9)

【年通号数】公開・登録公報 2019-017

【出願番号】特願 2017-196802 (P2017-196802)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【 F I 】

A 6 3 F 5/04 5 1 7

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 1 月 22 日 (2021.1.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定操作が可能な操作部が設けられた基板が収容された基板ボックスを備える遊技機であって、

前記基板ボックスの特定面には、凹部が設けられており、

前記凹部には、前記基板ボックスの外部から前記操作部を操作可能とする開口が形成されており、

前記開口の幅は、前記凹部の幅よりも狭く、

前記凹部は、略円形状に形成され、

前記凹部の外周から前記開口に連なる領域は曲面で形成されており、

前記基板ボックスは、前記開口および前記凹部を覆う蓋部材を有する、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

(A) 本発明の遊技機は、所定操作が可能な操作部が設けられた基板が収容された基板ボックスを備える遊技機であって、

前記基板ボックスの特定面には、凹部が設けられており、

前記凹部には、前記基板ボックスの外部から前記操作部を操作可能とする開口が形成されており、

前記開口の幅は、前記凹部の幅よりも狭く、

前記凹部は、略円形状に形成され、

前記凹部の外周から前記開口に連なる領域は曲面で形成されており、

前記基板ボックスは、前記開口および前記凹部を覆う蓋部材を有する遊技機。

(1) 本発明の遊技機は、所定操作が可能な操作部（例えば、リセットスイッチ 9 等）

が設けられた基板（例えば、設定基板 3 等）が収容された基板ボックスを備える遊技機であって、

前記基板ボックスの特定面（例えば、基板カバー 30 の下段部 43 等）には、凹部（例えばリセットスイッチ取付部 48）が設けられており、

前記凹部には、前記基板ボックスの外部から前記操作部を操作可能とする開口（例えば、奥端開口 48B 等）が形成されており、

前記開口の幅は、前記凹部の幅よりも狭い（例えば、奥端開口 48B の径は、前端開口 48A 及び側壁部 48C の径より小さい等）ことを特徴とする遊技機。